

2025/4/18

準備委員会メンバー共有用

## なんば広場 幹事会議事メモ

日時： 2025年4月18日(金)13:00~15:00

場所： 準備委員会事務所(河原センタービル)

参加： 戎橋筋商店街 菊地氏、青木氏

なんさん通り商店会 木村氏、木本氏、菊澤氏、丹野氏 (途中入室)

高島屋 井原氏

南海電鉄 寺田氏、駒田氏、大前氏、廣田氏、平木氏 (途中退室)

HBP 泉氏、岸本氏、福井 (記)

### 1. 今週の論点

#### (1) 【報告】2024年度HBP業務実施内容について

(泉氏より資料の通り説明)

##### ●概要 (PDF資料)

1. 全体企画・進捗管理：警察や関係機関との協議、ほこみち制度導入に向けた制度設計、公募支援を実施。WEBサイトの改修や利用ルールの整備を通じ、広場活用の体制を強化。
2. 持続的広場運営のための検証：清掃・警備体制の見直しによるコスト最適化を図り、運営ガイドラインおよび収支計画を策定。大阪市に対しては、持続的運営のための制度改善も提案。
3. 社会実験の推進支援：机・椅子の常設やイベントの受け入れにより活用実績を蓄積。ほこみち拡大に向けた検証を行った。必要機材の導入を含む現地対応で、社会実験の質向上を図った。
4. 法制度上の課題整理と対応：ほこみち制度の導入と運営主体の公募により、制度上の制約を克服。占用料の算出や会計処理への対応を通じて、収益性と公共性の両立を図る制度を構築。
5. 情報発信サポート：WEBサイトを刷新し、広場に関する取組を整理・発信。視察受入による収益化も実現。「なんばるラボ」では今後の方向性を議論し、社会的意義の共有を図った。
6. 会議体の運営支援：年間289回に及ぶ幹事会・協議会等の運営を支援。協議会ニュースを発行するなど、多様な関係者との連携・情報共有を円滑に進める体制を整備。
7. その他：社会実験の成果を毎月報告書として大阪市に提出。制度変更や検証結果を適切に整理し、事業の透明性向上と行政との信頼関係の構築に寄与した。

**(上記内容を踏まえて質疑応答・ご意見)**

- ・業務量が多いため、要点を一枚の一覧表にまとめてほしい。(木村氏)
- 1枚目に目次的な要点を記載し、詳細を2枚目以降に記載してはどうか。(寺田氏)
- 1枚の一覧表に成果を整理して記載する。(泉氏)
- ・業務内容の評価が困難。具体的な証明が必要ではないか。比較対象がなければ客観的評価ができない。(木本氏)
- 客観的評価には、国交省・大阪市職員・まちづくりの専門家などの評価など対外的な意見が必要。(泉氏)
- ・絶対評価であれば数値の提示を、相対評価であれば他社との比較を示すべき。(木本氏)
- 本業務はすべて初めての取組のため、比較対象が存在しない。(泉氏)
- 「いつ・誰と・何を協議したか」を資料として可視化し、幹事会以外の動きを報告する形はどうか。(寺田氏)
- 寺田氏の提案も含め、内容の「見える化」が必要である。(木本氏)

**(結論)**

⇒業務成果を1枚にまとめた要約を作成する。(HBP)

⇒次回以降、幹事会の最後に協議・会議録を共有する。(HBP)

**(2) 【意見交換】2025年度前半(4月~8月末)の収支計画について**

(大前氏より資料の説明)

- ・今後7・8月にイベントが追加された場合は収入増となる。その場合は、机・椅子を購入することも考えている。

**(上記内容を踏まえて質疑応答・ご意見)**

- ・机2台、椅子2脚が破損している。ほこみちの公募で記載している設置数を揃えるため、収入が上振れした場合は椅子・テーブルを購入するのがよい。(岸本氏)

**(結論)**

⇒収支計画は合意。収支が想定より上振れた場合は、机・椅子を購入する方針で合意。

**(3) 【意見交換】ほこみち期間のスケジュール概要**

(岸本氏より資料の通りの説明)

- ・現時点の公募占用指針の記載内容をもとに、目安のスケジュールとして作成した。
- ・公募開始前の意見交換の中で、大阪市より、社会実験期間で法人としての実績を積んでほしいという意見を頂いている。それを受けて、2027年度末に法人設立を目指すスケジュールを作成した。

- ・ほこみち採択後、大阪市と協議し具体的なスケジュールに更新していく。
- ・なんさん南北の区域導入などのスケジュールは、なんば広場の中央部分のほこみち区域導入のスケジュールなどを参考とし、想定スケジュールを記載している。

#### (上記内容を踏まえて質疑応答・ご意見)

・2027 年末の法人設立を目指すのであれば、企業（高島屋・丸井）を参入に導くための具体的な説得材料を早急に用意すべきではないか。設立した法人が、実際に管理運営できるだけの実績を積めるかどうかも不透明である。（木本氏）

→2026 年度にはデジタルサイネージに動画広告の掲載が可能となる見込みであり、広告収入の見通しが立ち始める。2027 年度にはほこみち制度の導入により、なんさん通り商店街での企業イベントも可能になる予定で、収支の展望が見えるようになる。（泉氏）

・2028 年以降の公募手続きの簡素化については慎重に考えるべき。間口が広がりすぎること、意図しない応募者が集まる可能性もある。（井原氏）

→公募の簡素化については、バランスを見ながら提案していく。（岸本氏）

・2028 年の再公募までに法人設立が本当に必要なかどうか、大阪市に確認すべきである。（木村氏）

→今回の公募が決定した後に大阪市と改めて協議を行う。（泉氏）

・法人の形態（例：一般社団法人、株式会社、合同会社など）について、高島屋、マルイ、南海電鉄の 3 社による会議を設け、どのような法人形態であれば出資可能か、各社の方針を示してほしい。（木村氏）

#### (結論)

⇒ほこみち公募で採択された場合、事業期間中に大阪市に法人化の必要性を確認する。

⇒両商店街が参加のもと高島屋、マルイ、南海電鉄の 3 社で法人形態の方針を決定する会議を設ける。

#### (4) 【意見交換】 提案資料について

- ・デジサイの検討状況について

##### デジサイの形状

(岸本氏より資料の通り説明)

- ・三角形か L 字のいずれかデジサイの形の方針を決定する。
- ・いずれの形でも画面のサイズは同じである。

#### (上記内容を踏まえて質疑応答・ご意見)

・当初は、東側面を広告、西側面を広場イベント情報や地域情報として活用する案であったのではないかと。（木村氏）

→Chujyo より「2面セット売りの方が商品価値として高い」との提案があったため、2面セット売りの販売計画となっている。(岸本氏)

・イベント等への影響も踏まえると、占有面積が小さい三角型が望ましい。(井原氏)

### (結論)

⇒三角型で検討を進める。

### 収支計画（デジサイ・バナー）について

(岸本氏より資料に基づき説明)

・媒体単価は34万円、稼働率は20～30%と設定。これらの数値は、周辺エリアのデジタルビジョン媒体と比較検討のうえで決定された。

・収益配分については、Cyujyo が2年間で初期投資を回収できるよう、設置当初はCyujyo 側の配分を高く設定し、徐々に準備委員会の割合が高くなる設定となっている。

・プロポ時の2000万円/年を基準とし、Cyujyo から準備委員会への納金が、4年間で総額8,000万円となる収支計画となっている。

### (上記内容を踏まえて質疑応答・ご意見)

・音声有ではなかったか。他媒体と比較すると不利ではないか(井原氏)

→大阪市との協議の中で音声無しとなった。Cyujyo にも確認したが、音無しでも通行者の目線の高さにサイネージがあるメリットの方が高いのでは、という意見だった。

(岸本氏)

→音が無い方が商店街的にありがたい。(青木氏)

・なんさん通り北側のバナー(5本)について、現在の運用方針はどうなっているか。(菊澤氏)

→公募占用指針に該当の記載がないため、今回のほこみち公募の業務の中での該当箇所のバナー販売はできない。(岸本氏)

→現状、なんさん通り北の5本については広告の募集を行っておらず、商店街としては収入減となっている。なるべく早期に準備委員会で方向性を決定してほしい(菊澤氏)

→今後、ほこみちの公募が決定した段階で、大阪市と協議を行う(岸本氏)

・バナー広告について、取付撤去が高額な理由は、取付撤去費を広告主に負担させたほうがよいのでは。なんさん通りはその運用で販売している。(木村氏)

→取付設置費が高い理由は、高所作業車が必要なため。取付撤去費の扱いについてはcyujyo に改めて確認する。(岸本氏)

・最低限の収益保証として、4年間で8,000万円(年間2,000万円)を確保することをChujyo 側に書面で確約してもらうべき(木本氏)

→契約書内で確約するとコンプライアンス上の問題など発生する可能性があるため、確認

した上で Cyujo と協議する。(廣田氏)

### (結論)

・ デジサイ及びバナーに関する収支計画 (4年間で総額 8,000 万円を納金可否) について、Cyujyo と詳細協議を行う。

#### ・ 維持管理協力金について

(岸本氏より資料に基づき説明)

・ 維持管理協力金は、公募占用開始後に大阪市との協議のうえ変更可能なことが公募占用指針に記載。

#### 区域② (マルイ前) について：

- ・ マルイより、2025 年 9 月 1 日～2026 年 9 月 1 日の 1 年間を運用ルールの検証期間とし、その後イベント受け入れや購買施設の実施を開始するという提案があった。
- ・ この提案の背景には、「初年度からのイベント実施はリスクが高い」との考えがある。
- ・ イベントは 1 日単位での貸出を基本とし、6 日以内の購買施設については、1 カ月単位・50 万円での貸出を想定している。

### (上記内容を踏まえて質疑応答・ご意見)

- ・ 各区域の金額の端数は、切り上げで設定してはどうか。(木村氏)
- ・ 狭小区域は単価が割高になるのが通例であり、面積比で算出した金額に 1.5 倍をかけた上で切り上げるのでよいのでは。平米単価も示してほしい。(木本氏)
- 各区域の金額の端数は、切り上げで設定する。(岸本氏)
- ・ 区域②はマルイ前のため、マルイが独占的に利用したいのではないか。(木村氏)
- 大阪市からの要請により、社会実験期間中の 4 年間は、他企業の利用を受け入れることが義務付けられている。(廣田氏)
- ・ 2026 年 9 月までの運用期間はマルイが自主イベントを行うということか。一般のイベント募集に向けて募集をしないのか。申し込む方が混乱しないようにする必要がある。(菊地氏)
- 最初の 1 年は、マルイ以外からの提案は受け入れない方針である。(岸本氏)
- 準備委員会の HP 上では、初年度のイベント募集は区域①・③に限定して掲載予定である。(廣田氏)
- ・ 自主事業の主体は準備委員会であるため、区域②の運用にも意見を出す立場であるという認識でよいか。(木本氏)
- よい。(廣田氏)
- ・ マルイが利用する前提で検討を進めていく必要がある。4 年後以降の区域②の運用可否は、マルイが判断すればよい。(木村氏)

### (結論)

⇒各区域の維持管理協力金の金額は、端数は切り上げて設定する。

⇒区域②は、1年間の運用ルールの検証期間とする。

#### ・4年間の仮収支について

(大前氏より当日配布資料の通り説明)

- ・公募提出用に作成した資料である。事務局経費等は、今後個別に調整する。

### (上記内容を踏まえて質疑応答・ご意見)

→特に意見なし。

### (5) その他

#### ・利便増進計画について

(岸本氏より資料の通り説明)

- ・前回幹事会(2025年4月4日)の際に共有した資料をもとに、提出用に作成。
  - ・今回幹事会の決定事項を反映し、週明けを日途に幹事会メンバーへメールで送付する。
- ご意見あれば、メールに返信するかたちでご意見いただきたい。(岸本氏)

### (結論)

⇒本幹事会の内容を反映した利便増進計画を週明けに送付。(事務局→幹事会)

## 2. 広場のイベント予定

- ・4/29(火) MASHUP vol2 (KPOP トークセッション) 主催：南海電鉄
- ・5/8(木)～12(月) 御堂筋サテライトプラン 主催：大阪市建設局 (行政行事)
- ・6/6(金)～8(日) マルエフ横丁 in 大阪 主催：アサヒビール

## 3. 今後の日程

A 駅前広場未来会議 (3者会議)

B 幹事会：幹事会、コンサル

- ・5/9(金) 13:00～15:00 幹事会 @準備委員会事務所(河原センタービル)
- ・5/12(月) 10:30～12:00 準備委員会・委員会 @準備委員会事務所(河原センタービル)
- ・5/16(金) 10:30～12:00 協議会・役員会 @準備委員会事務所(河原センタービル)
- ・5/16(金) 13:00～15:00 幹事会 @準備委員会事務所(河原センタービル)
- ・5/23(金) 13:00～15:00 協議会総会 @河原センタービル
- ・5/23(金) ※総会が終わり次第 幹事会 @準備委員会事務所(河原センタービル)

・5/28(水) ほこみち・提案資料提出

以上